

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	1-1-3		事業名	さっぽろ市民子育て支援宣言事業			
担当	子ども未来局子育て支援部保育・子育て支援課 後本 211-2988						
全体計画							
事業内容	1人でも多くの市民や企業が「自発的に」子育て中の親子を支援する意識を持ち、札幌市を子育て家庭にやさしいまちにするための取り組みを行う。具体的には、宣言という形で自分ができる子育て支援行動の実践について意思表示することにより、子育て支援の意識を高め、それぞれの行動に結びつけていく。			＜年度別の事業内容＞			
				19年度中に実施予定。 22年度に宣言者数1万人を目標として事業に取り組む。			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	既往予算により、広報用のチラシ(25,000枚)、ポスター(500枚)を作成。			一般市民に募集していたキャッチコピーが20年3月をもって終了し、6月の札幌市子育て支援推進ネットワーク協議会にて決定される。 20年度は、キャッチコピーを大きく取り入れたチラシ(100,000枚)、ポスター(1,000枚)を新たに作成し広報していく。 11月の札幌市子育て支援推進フォーラムにて19年度からの取り組み経過を報告し、引き続き子育て支援の意識高揚が市民へ広がるよう進めていく。			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
宣言者数(累計)		-	個人 1,032人 団体 40 企業 3	3千人	7千人	1万人	1万人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 コールセンターを活用することにより、市民が宣言しやすい環境づくりに努めている。							
企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 企業・団体等に働きかけ、趣旨の浸透に努めている。							
市民・企業等が参加しやすい環境づくり 引き続きコールセンターを活用するとともに、より効果的なPR方法について検討していく。							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	1-1-3		事業名	さっぽろ市民子育て支援宣言事業		
評価(成果)			課題			
多くの市民が子育て家庭を支援する意識をもってもらうことにより、札幌市全体が子育て家庭を支える環境になる。			チラシ、ポスターを作成してのPRと、報道関係にも積極的に広報をしたが、事業の認知度をさらに高める必要がある。 平成20年度に決定するキャッチコピーなどを活用するとともに、ワークライフバランス取組企業応援事業等との連携など企業認証の推進に関する検討、PR、シンボルグッズを活用するなど、さらなる趣旨の浸透を図る必要がある。			
今後の事業の予定・方向						
新たなチラシ等の作成とともに効果的なPR方法についても検討していく。また、現在の宣言方法の見直しについても検討し、市民への浸透を図っていく。						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	-	-	-	-	-
	財源内訳	国・道支出金				
		市債				
		その他				
予算	事業費	0	230	-	-	230
	財源内訳	国・道支出金	0	0		0
		市債	0	0		0
		その他	0	0		0
実績	事業費	51	-	-	-	51
	財源内訳	国・道支出金	0			0
		市債	0			0
		その他	0			0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				-
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度] 既往予算により、広報用チラシ等を作成した。						
[20年度] 計画では事柄のみ計画化されているが、平成20年度予算においては、チラシ作成費用などが計上された。						